

1 「本質的な問い」による単元（題材）構想について

○「よりよい未来をつくるために、わたしたちは地域とどう関わり、どう生きるのか」という本質的な問いに迫るよう、職場体験を通して体験をふり返りながら自分は地域とどう関わっていくべきか、どのように地域に貢献することができるのか、考えるきっかけにすることができた。

●地域貢献に向けた子どもの課題意識および主体性を、子ども自身が発揮できるように改善し、学習をすすめる必要がある。

2 単元（題材）で育成を目指す資質・能力について

【知識・技能】

○「あしあとシート」より

☆働くことは、生活をするためにすることだと思っていたが、それだけではなく人の役に立つことでもあるということを知った。将来人の役に立てるよう努力をしたいと思った。

☆働くことは、事業所の人だけのことではなく、地域の人や私たちとも深く関わり大切なことだということがわかった。

☆自分の長所を増やしていきたい。人のために少しでも何か手伝いをしようと思った。

☆人から言われてするのではなく、自分で考えて行動することが大切だと思った。

これらの結果から、働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いていることがうかがえる。

【思考・判断・表現】

○一人一人が、課題追求の視点をもって、キャリアスタートウィークの学習に臨むために、個人の考えをまとめたり友達の意見を聞いたりする中で、より明確に目的を持って取り組むことができたと思われる。

「あしあとシート」の結果より

☆キャリアスタートウィークでは、自分なりのテーマをもって取り組みましたか。

「とてもあてはまる」…76%、「あてはまる」…16%、「あてはまらない」…8%

☆自分のテーマをやりきることができましたか。

「とてもあてはまる」…57%、「あてはまる」…28%、「あてはまらない」…15%

☆いろいろな勉強をして礼儀や知識を身に付けたい。

☆自分の意見を持ち、周りの人にわかりやすく伝える力をつけていきたい。

●テーマをやりきることができなかった理由には、コロナ関連で参加できなかったことが挙げられる。しかし、事業所に恩返しをしていくことが地域貢献にもつながることを理解し、中学生である生徒にできることは何かを考えさせ、地域のためにできることを実行していく。

【主体的に取り組む態度】

○仕事と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとすることができた。

「あしあとシート」より

☆人に優しく接する力、人の気持ちを常に考えられる力を身につけたい。

☆いろんな人と関わり、コミュニケーション力をつける。

☆困難にぶつかっても、簡単には折れない強靱な精神力を身に付けたい。

3 「デジタル機器」の活用

○タブレットによる写真提示により、体験を想起させることができたり、友だちの考えを共有することで自信を持って自分の考えを発表することができた。

●思考ツールについて、教師が指示する型にはめた活用だけではなく、生徒自身が自由な発想で自主的に活用できるよう、工夫する必要がある。